

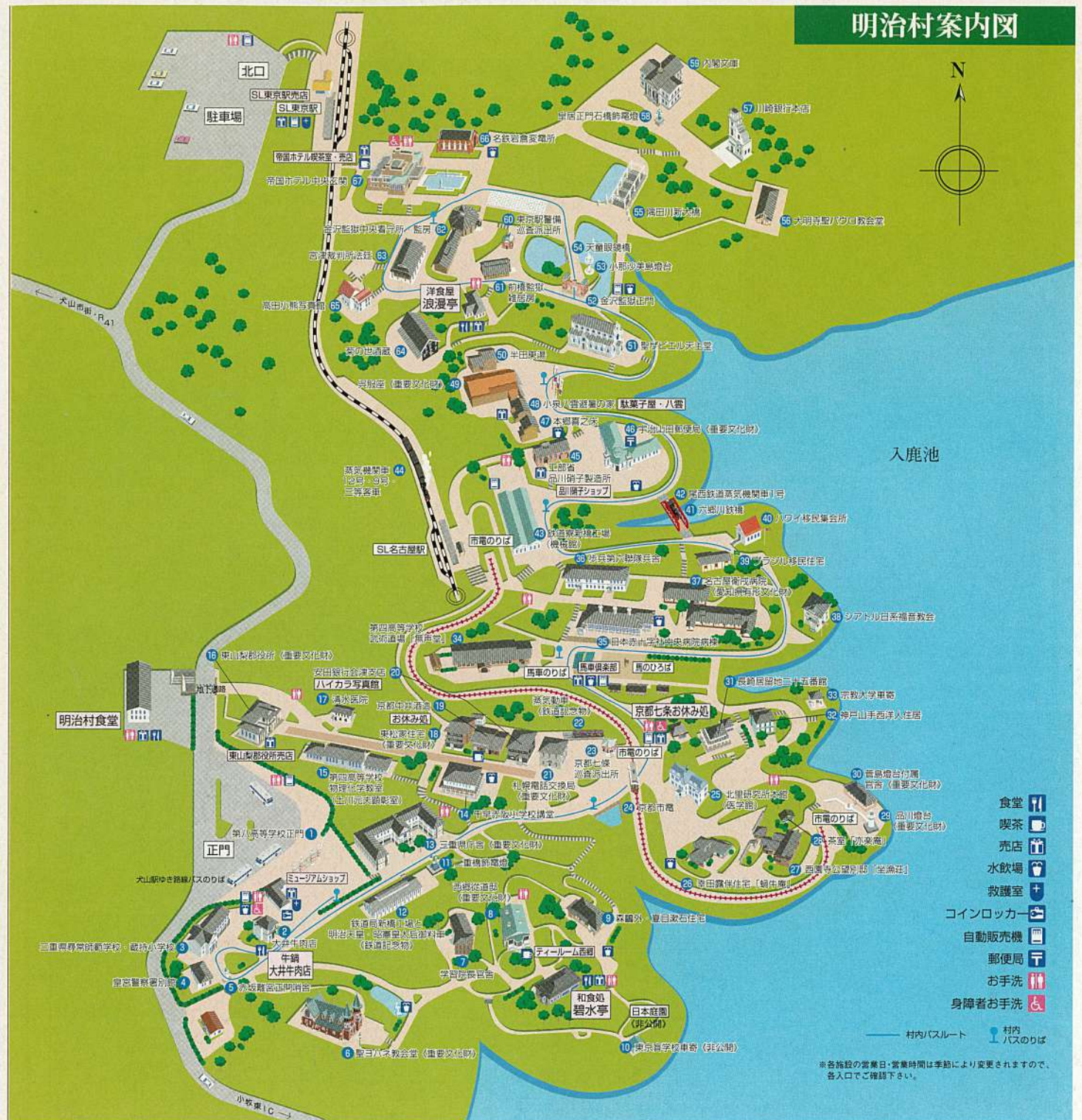
明治村 だより

春号 Vol. 27

目次

- 「異空間」への誘い 川上秀人… 2
- 啄木「喜之床」暮らし 山本玲子… 4
- 催し物ご案内 …………… 6
- 「明治のりもの博覧会」誌上見学会… 8
- A La Meiji-mura …………… 10
- 明治村花マップ …………… 11

東 京 高 輪 海 岸
蒸 氣 車 鉄 道 圖 岸



交通費と入村料金がセットになって
お得な ひゃくりくクーポン

MEITETSU
 名古屋鉄道

ホームページアドレスが
 新しくなりました。

<http://www.meijimura.com>

『明治村 だより』 第28号発行のお知らせ
 発行時期 平成14年7月(予定)
 申込方法 「明治村だより」第28号ご希望の
 旨及びご住所・お名前を明記の上、
 送料140円の切手とともに封書
 にてお申し込み下さい。

平成14年3月5日発行
 「明治村だより」第27号(平成14年 春)

発行 博物館明治村
 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
 電話 (0568) 67-0314
 ◎ホームページ
<http://www.meijimura.com>
 製作 大日本印刷株式会社

明治のりもの博覧会

3月10日(土)～11月24日(日)

「御料車」5・6号車の内部特別公開!

明治村にある御料車(鉄道記念物)は、歴代中最も豪華。内外装は漆塗りで、彫刻・螺鈿・七宝など当時の最高水準の工芸が盛り込まれている内部を初公開します。(詳細は8ページ)

儀装車の記念展示 <馬のひろば>

皇居を訪れる海外の貴賓や使節の送迎、儀式などに使用された瀟洒な馬車です。



蒸気動車の内部公開

明治45年製作の国産の蒸気動車(鉄道記念物)で、わが国にはこの一両しか残っていません。(詳細は9ページ)

尾西鉄道蒸気機関車1号の機関室搭乗体験

明治30年に造られたアメリカ製の尾西鉄道蒸気機関車1号の機関室に搭乗できます。(詳細は9ページ)

新橋・横浜間を走った蒸気機関車12号が走る。

片道大人300円、小人150円

明治7年に輸入されたイギリス製で、日本最古の機関車のひとつである12号(毎月前半)と明治45年アメリカ製の9号(毎月後半)に実際にご乗車できます。(詳細は9ページ)

人力車に乗ってみよう。

<三重県庁舎>

挑戦!! 明治の自転車

<馬のひろば横>

10分100円

明治時代に大流行した前輪が大きく、後輪が小さいオーディナリー型自転車に挑戦!

騎馬警官の村内巡視 <村内>

食は明治にあり 3月10日～5月26日 <明治村食堂>

明治の「姫路駅の駅弁」と食堂車メニューの再現。

市電・SL乗り放題券つき 明治のりもの博覧会 お楽しみガイド

大人700円 小人500円 受付・発売/正門・北口

「明治のりもの博覧会」を見学しながらスタンプを集めるワークシートと市電・SLの一日乗車券、馬車・バス・馬車道アイスなどの割引券をセットした楽しいガイドブックです。

※催事は都合により変更する場合がありますので、詳細については事前にお問合せ下さい。

日本初の市電、京都市電 花電車運行

4月27日～5月6日

京都市電が昔なつかしい「花電車」に変身。



明治「のりもの」錦絵展

3月10日～5月26日

<三重県庁舎2階特別展示室>

明治村所蔵の「のりもの」をテーマにした錦絵展。



明治村ウエディングフェア

3月10日

<帝国ホテル中央玄関・聖ザビエル天主堂・岩倉ホール>

模擬結婚式 12:00～、13:30～の2回。

披露宴セットの紹介もあります。

お申し込みは ☎0120-78-2205

新世紀 ミニ・デザイン博

(中日新聞社後援)

3月24日～4月7日 <帝国ホテル中央玄関>

日本インテリアデザイナー協会中部支部による作品展を開催。

シティゲイツクワイヤー コンサート

3月29日 <聖ザビエル天主堂>

11:30～ 13:00～の2回。

イギリスで活躍中のプロを含むミュージシャンによるゴスペルコンサート。

明治村剣道大会 4月14日

<第四高等学校武術道場「無声堂」>

全国から選抜された8段以上の範士・教士による迫力溢れる大会です。

明治のりもの風俗展

4月27日～5月6日

明治時代の、のりものと街の様子を写した古写真やのりものに関する資料の展示です。

<岩倉ホール>



鉄道用品バザール

<岩倉ホール>

4月27日～5月6日

鉄道に関する楽しい品物がいっぱい。最終日に鉄道部品のオークションを開催します。

乾電池で「京都市電」を走らせよう!!

5月5日

外付けにした乾電池800本で京都市電を走行させます。

応募方法 往復ハガキに参加者名・学年・住所・電話番号と保護者の氏名を明記の上、開催日2週間前までにお申込み下さい。

100人の小学生

春の明治村

明治の文人 墨蹟展 4月13日～21日

<三重県庁舎1階>

明治村茶会にあわせて、明治村所蔵の方南文庫の中から展示。

日本庭園特別公開 4月27日～5月12日

普段は非公開の明治村の日本庭園でゆったりと。

明治村茶会 4月18・19日

坐漁荘・亦楽庵席 名古屋数寄者

学習院長官舎席 岐阜・大松美術館

日本庭園・野点席 大萱八坂窯 加藤芳右衛門

明治建築を利用した開かれたお茶会です。

会費15000円(前売り券のみ) 茶席三席と点心席・模擬店

☎0568-67-0314

好評発売中

山下洋輔 監獄ジャズ in明治村

4月27日 14:00～ <金沢監獄中央看守所>

ジャズピアニスト山下洋輔氏の祖父が設計に携わった金沢監獄で生演奏。

*お問合せ

NPO犬山音楽文化協会 (0568) 61-1237



SL機関士体験

4月6日・13日・5月11日・18日 <電話予約制>

☎0568-67-0314

明治時代に実際に走っていた蒸気機関車の機関士になってみよう。

・参加条件 身長130cm以上の小学生・参加費 400円

明治村写真コンテスト「明治村百景」

募集締切 平成14年6月30日

応募要項

一般 カラープリント四つ切り写真

(ワイド四つ切り可)

デジタル部門 A4サイズにプリントアウト

したもの

明治村賞 1点 賞金10万円

大賞 2点 5万円

特選 3点 3万円

他 入選、佳作を設けています。

●応募について

作品と指定の応募票に氏名、住所、電話、撮影条件(タイトル、日時、天候、使用カメラ、レンズ、フィルム、シャッタースピード、絞りなど)を明記してください。

※デジタル部門では使用カメラ、画素数、加工方法を併せて明記してください。

たくさんのご応募を
お待ちしております

再現!! 百年前の結婚式

5月12日

<聖ザビエル天主堂・岩倉ホール>

公募で選ばれた1組のカップルに明治時代の貴族たちの結婚式を再現していただきます。

新婦が着用する衣裳は、明治村で収蔵する120年前のウェディングドレスを忠実に復元したものです。

建物ガイド

・呉服座

・西園寺公望別邸「坐漁荘」

・西郷従道邸2階

※普段は見学できない箇所をガイドつきで公開します。

時間	
11:00	11:20
11:40	13:00
13:20	13:40

開運ホール

<千早赤阪小学校講堂>

矢場・射的・輪投げ・サイコロゲームにおみくじや、開運グッズがいっぱい。

暗夜回廊

<歩兵第六聯隊兵舎> 1回200円

暗闇の迷路はスリル満点!

明治のくらしよろず体験

<三重県庁舎>

明治のくらしの道具を見るだけでなく、体験できる展示室です。(4月13日～21日は休止)

明治村にはどんな「のりもの」が展示されているかご存知ですか？ チンチン電車のお馴染みである「京都市電」や、陸蒸気とよばれていた蒸気機関車は実際に乗ることもでき、大人気ですね。

実はこれら動いている「のりもの」のほかに、今となってはいろいろな理由から見学することしかできませんが、



蒸気自動車

②② 蒸気自動車 キハ6401 (鉄道記念物) ★★★

明治45年(1912)に大阪の汽車製造株式会社(明治29年(1896)創業、創業当時は汽車製造合資会社、昭和47年(1972)に川崎重工と合併)で製造されたもので、国産の現存する唯一の蒸気自動車です。

蒸気自動車は、短い区間で効率良く運行するために考案され、この車輛は汽車製造株式会社技師・工藤兵治郎が明治42年に「工藤式蒸気自動車」として特許を出願し、明治43年に認可されました。一車輛の中に運転室・客室・機関室の三つが一緒になったもので機能的ですが、機関室が客室と扉一つしか隔てておらず、乗り心地はあまりよくなかったようです。定員は80名、座席は38人分のロングシートで、立ち客のためには革製の吊り革が下がっています。

この蒸気自動車は明治45年から関西線を走り昭和18年(1943)に廃車となり、名古屋鉄道に払い下げられ、昭和37年(1962)に歴史的に価値ある車輛ということで国鉄(現在のJR)に移管され、現在の場所には昭和42年(1967)から展示されています。

データ：鉄道記念物指定…昭和37年
火床面積0.41m²・総重量24.1t・燃料積載量0.36t
(注) 石炭を燃やすところ

④② 尾西鉄道蒸気機関車1号 ★★★

尾西鉄道は愛知県の西北部、現在の名古屋鉄道尾西線を中心に走っていた鉄道で、明治31年(1898)開業し、大正14年(1925)名古屋鉄道に吸収合併されました。

この機関車は、1897年(明治30)アメリカ・ブルックス社(Brooks Locomotive Works)で製造されたもので、尾西鉄道開業時の路線の弥富一津島間を中心に運行していました。昭和10年(1935)から日本曹達株式会社二本松工場(現在のJR信越線二本松駅近く)内の工場専用機関車として使用されていました。

尾西鉄道蒸気機関車1号



蒸気機関車12号

④④ 蒸気機関車12号 ★★☆☆

1874年(明治7)イギリスのシャープ・スチュアート社(Sharp Stewart & Co.Ltd.)で製造された1B形タンク機関車です。日本の鉄道は明治5年に新橋-横浜間が開業し、10輛の機関車がイギリスから輸入され運行にあたりました。この12号は輸送力を増強するためにその2年後に追加輸入されたもので、当初の車輛の番号は23、明治42年(1909)の改番で165となりました。輸送量の増加とともに機関車の能力が不足し、明治44年(1911)鉄道院所属のこの機関車は尾西鉄道の機関車と交換され尾西鉄道12号として昭和32年(1957)廃車になるまで活躍しました。車輛の番号は尾西鉄道が大正14年(1925)名古屋鉄道と合併した後もそのまま引き継がれ現在に至っています。博物館明治村では再整備を行い、昭和49年(1974)から動態展示しています。

データ：機関車全長7.924m・機関車総重量17.49t(空車時)・牽引重量105.67t・燃料積載量0.88t 火床面積0.7m²

④④ 蒸気機関車9号 ★★☆☆

1912年(明治45)アメリカのボールドウィン社(Baldwin Locomotive Works)で製造され富士身延鉄道(現在のJR身延線)が購入したC形タンク機関車です。富士身延鉄道から日本鋼管鶴見製鉄所内の入換用として使用されていました。

データ：機関車全長8.065m・機関車総重量19.3t(空車時)・牽引重量394.9t・燃料積載量1.56t



蒸気機関車9号

明治のりもの博覧会 誌上見学会

⑫ 御料車5号 (鉄道記念物) ★★★

御料車は天皇陛下、皇后陛下、皇太后(先の天皇の皇后)陛下、皇太子殿下のための専用列車のことです。この御料車5号は今からちょうど百年前の明治35年(1902)3月に昭憲皇太后(明治天皇の皇后)用として新橋工場で製造されたものです。

前方から大膳室(調理室)・女官室・御座所(陛下のお座りになる場所)・御寢室・化粧室兼御閑所(休憩室)・供奉員室(お供の人の場所)となっています。特に御座所の天井は中央は金粉をふきつけた金砂子で雲を描き、両側には明治時代を代表する画家の川端玉章が帰雁(注1)・来燕を橋本雅邦が桜花・紅葉を描いています。車体は当初はペンキ塗りでしたが大正時代に漆塗りに変更されました。

大膳室では調理は一切行わず、すべて調理されたものを持ち込んだといわれています。また、車内の室内灯は発電機や蓄電池を用いて点灯したそうです。

データ：鉄道記念物指定…昭和34年
長さ…16.129m 重さ…21.94 t

(注1) 春先に南から北の寒い地方へ渡っていく雁。雁はガンカモ科のカモに似た大形の水鳥。

御料車5号

⑫ 御料車6号 (鉄道記念物) ★★★

明治43年に明治天皇用の御料車として新橋工場で作られました。車体は5号と同じように当初はペンキ塗りでしたが、大正時代に入り、漆塗りに変更されました。

外壁の中央には菊の御紋章、両側に桐の御紋章が配され、歴代の御料車の中でもっとも優雅な車両といわれています。車内は前方から大膳室・侍従室・天皇御座所・侍従室・御寢室・お手洗い室となっています。

御座所内に置かれている調度品の意匠・彫刻・螺鈿などとても素晴らしいものです。また、御座所の片側には細い廊下が作られており、御座所を挟む形で置かれている侍従室への出入がしやすいようになっています。この6号車が製作されわずか2年で明治天皇が崩御されたため、明治天皇のご使用はあまり多くありませんでしたが、大正・昭和初期まで天皇専用車として活躍しました。

データ：鉄道記念物指定…昭和34年
長さ…20.728m 重さ…33.54 t

御料車6号

⑫ 京都市電 ★★☆☆

日本最古の市街電車が千年の都京都を走ったのは明治28年(1895)2月1日。この日開業したのは京都電気鉄道(大正7年に京都市交通局に営業譲渡)の東洞院塩小路通-伏見油掛間(伏見線)の約6.4kmです。

この電車開業は京都の近代化と深く結びついています。明治14年から24年の10年間京都府政を担った知事・北垣国道が京都の近代産業基盤整備を図るため、琵琶湖から水を引く疏水を計画しました。その疏水の水で水力発電を、そして水力発電で得た電力で電車を走らせるというものです。疏水は明治18年(1885)に起工し、23年(1890)に完成しました。蹴上の水力発電所が開業したのが明治25年(1892)、その3年後に電車が開業しました。またこの電車が開業した明治28年は平安遷都1100年を記念した「平安遷都千百年記念祭」、京都の岡崎を会場に行われた「第4回内国勸業博覧会」という大きなイベントが催された年でもありました。京都市電はこれらイベント会場と京都駅を結ぶ重要な輸送手段としても位置付けられており、博覧会の開会日の4月1日に合わせて、京都駅から博覧会場の岡崎までの市内線が開業しました。

博物館明治村で動態展示をしているのは、開業当時の路線とは異なり、明治32年に開業した北野線で運行していた車輛です。

明治村花マップ

3月～5月



38 シアトル日系福音教会とコバノミツバツツジ



13 三重県庁舎とレンギョウ



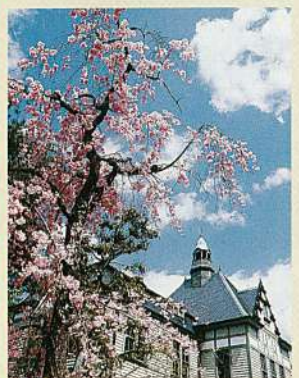
65 高田小熊写真館とユキヤナギ



24 京都市電とサクラ



64 菊の世酒蔵とサクラ



25 北里研究所本館とサクラ



46 宇治山田郵便局とアメリカハナミズキ



59 内閣文庫とツツジ



月	3月			4月			5月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下
アセビ									
コバノミツバツツジ									
ソメイヨシノ									
ショウジョウバカマ									
カタクリ									
ボケ									
ヤマザクラ									
ツバキ									
コブシ									
モクレン									
レンギョウ									
ユキヤナギ									
ヤエザクラ									
ドウダンツツジ									
モチツツジ									
サツキツツジ									
アメリカハナミズキ									
ヒラドツツジ									
フジ									
ヒトツバタゴ									
ハナショウブ									

A La Meiji-mura

瓦屋さん、レンガを作る。

京都市電に乗り品川燈台前を目指す、ほどなく磯の香りが漂ってくるような錯覚を覚える風景が広がります。ここは明治村の最東端、入鹿池を背にどっしりと腰を据える品川燈台の隣りに小さなレンガ造りの建物があったずんではいけません。③

明治六年、イギリス人技師ブランドンによって菅島燈台とともに設計されたこの官舎は、伊勢湾の入り口に浮かぶ菅島に建てられました。当初は灯台守も外国人が担当していたために、このようなレンガ造りの洋風住宅形式の建物になりました。建設には島の人々が資材の運搬などで協力し、昭和二十八年に管理が無人化されるまで島民が集う憩いの場でもありました。

実は、ここに使われたレンガは全て地元瓦屋によって焼かれたものだという事をご存知でしたか？三重県志摩郡渡鹿島の瓦屋、竹内仙太郎がその人です。もちろん、屋根の瓦も仙太郎の手によるものです。瓦屋がレンガを手がけるという事はしばしば行われ、最も古い例は安政四年（1857）長崎製鉄所建設の際にオランダ人技師ハー・ハルデスが地元の瓦屋に焼かせたものです。その後、横須賀製鉄所のフランス人技師ポエルや大阪造幣寮を手がけたイギリス人万能エンジニア・ウォートルスらによる指導を受けた明治の職人達の技術の向上には、外国人技師達も目をみはるほどでしたが、当時は焼成火力が弱かったためにレンガに厚みを持たせることができず、まるで板コンニャクのような形をしていたことから、コンニャクレンガと呼ばれていました。菅島燈台付属官舎に使われている仙太郎のレンガもこのコンニャクレンガにあたります。（建

物内に展示してありますのでご覧下さい。）
こうして国産レンガによる洋風建築が日本各地へ広まって行きました。しかし、明治二十四年（1891）の濃尾地震で、数々のレンガ造建築が崩壊し、建築学会からも世論からもレンガ造を廃止せよとの意見があります。そして、レンガにかわる構造として、その頃アメリカやドイツで研究が進んでいた鉄筋コンクリートが台頭してきます。さらに、大正十二年九月一日の関東大震災によりレンガ造の終焉は決定的となりました。と同時に、優美で温かみのあるレンガ造建築は構造重視の無機的な建築へと移行し、次第に街の風景も変わっていききました。



神戸山手西洋人住居の換気口

入鹿池の水面を見下ろす丘の上、かつて居留地と呼ばれていた神戸市北野町・山本通の眺めを思い出させるその場所に、⑦神戸山手西洋人住居は建っています。



この洋館の最下部、基礎となっている石垣には円形の床下換気口が各壁面に対して二つずつ設けられていますが、この換気口の飾りに注目して下さい。モチーフとなっているのはアカンサスという南ヨーロッパで自生するハアザミで、紀元前五世紀末頃古代ギリシア建築の科リント式柱頭装飾として用いられて以来、ヨーロッパでは今日に至るまで、主に建築・家具を飾る最も一般的な植物文様として発展したものです。アカンサス文様は「芸術を愛する事」「細工」「巧緻な表現」を象徴すると言われています。

アカンサスの花言葉は「美術工芸の至上の美」。明治村内には他に④札幌電電話交換局の一階窓額縁の要所にアカンサスの葉が彫刻されており、⑤大井牛肉店の正面柱の柱頭に使われているのもアカンサスです。皆さんも是非間近でご覧下さい。



秘密の工夫

⑦西園寺公望別邸「坐漁荘」は大正九年、静岡県清水市興津の海岸に建てられた建物です。この時西園寺公望は七十一歳、政治の第一線から退いた後、静養のために過ごした住まいで、中国呂尚の故事から付けられた「坐漁荘」という名前には、家にのんびり座って魚をとるという意味が込められています。



西園寺公望は竹が大変好きだったそう、この建物にはいたる所に竹が使われています。外から見ると正面玄関右側の窓の格子も竹でできています。しかし、一階の窓の格子が竹では余りに無用心というものです。西園寺公望は二度総理大臣を務められた方で、引退したとはいえ政界への大きな影響力を持ち、事あるごとに政治家の訪問は絶えませんでした。坐漁荘が建てられた前後には米騒動や普選運動の激化、第一次世界大戦の戦後恐慌、安田善次郎（安田財閥の創始者）や原敬首相の暗殺など、暗いニュースの多い不安定な世の中でした。実はこの格子、竹の中には鉄の棒が入っているのです。防犯策をしっかりと講じつつも、京風数寄屋造の雰囲気を壊さないよう、表には出さない工夫がなんとも粋で風流です。